



敬老祝会での体操

ブラジリアの風



手作りの「おもてなし」

アキラとプリスキラ

9月25日の主日午後より、ブラジリア教会主催の「敬老の日」祝会が3年ぶりに開催されました。教会のすぐ裏手にある農園を会場に、約30名の高齢者をお迎えして幸いな時を過ごしました。

今回は、サンパウロのルージラモス教会より福浦としあき・あさえご夫妻を特別ゲストにお招きしました。あさえ姉妹は、1960年代にブラジリアで開拓伝道を始めた二宮睦子宣教師の「カバン持ち」として初期伝道に尽力され、福浦兄弟は、サンパウロのホーリネス教会を巡回して献金を呼びかけ、最初期のブラジリア教会建設の資金集めに奔走してくださいました。

現在、80歳半ばの福浦兄姉ご夫妻ですが、20年以上に渡って教会で高齢者のデイサービス事業もリードされ、この敬老祝会でも体操や歌の指導をしてくださいました。伝道者パウロを支えた「アキラとプリスキラ」（使徒18:2）のようなご夫妻には、長年主に仕えてこられた信仰者の柔和さと清さが溢れていました。

前日の食事の席では、福浦兄弟が「”生活が宣教”…だから、大きなことをしようと思わなくてもいいんですよ」と優しく諭してくださったことが私の心に深く響いています。



**「私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています」
(2コリント4:16)**

敬老祝会において語らせていただいたのが、上記のみことば。高齢のお一人ひとりが、肉体は衰えても、内なる人が日々キリストとの交わりによって強められきよめられて、新しい力と永遠の希望に満ち溢れますようにと祈らされています。

【近況と祈りの課題】

・敬老祝会 (9/25) : 教会あげての「おもてなし」で素晴らしい祝会となりました。引き続き、高齢の一人ひとりが主と出会い、まことの救いと永遠のいのちに生かされますように。

・ヴァルゼンボニータ開拓 : 8/28の礼拝は24名が参加。「野のゆりを見なさい」のメッセージの後、吉田宅のお庭を散歩しながら色々な花や果物を観察し、いのちの主を崇めました。毎週礼拝できる会堂が与えられるように。日系家庭が導かれるように（岩切家、前添家、宮原家、川村家、小山家、伊藤家、仲村渠家、中嶋家、加野家、園田家、伊波家、安田家、新保家、上間家、比嘉家、木村家、仲田家、小野家、岩川家、北原家、渡辺家ほか）

・ブラジル国のため : 10月2日に大統領選挙の1回目投票、10月30日に2回目投票が予定。大統領をはじめ、ふさわしい州統領や議員が立てられるようにお祈りください。

・浜田ファミリー : 四男翔は8月初旬、左手甲を車のドアに挟み骨折、完全な癒しと回復のために。円安が進む中での経済が支えられ、必要が日々満たされるように。

2022年10月1日 浜田献、陽子



敬老祝会での笑顔

「浜田宣教師指定」献金の感謝とご報告

(7-8月) 指定献金: 615,121 円 (1-8月累計: 1,938,221円)
*現地支援: 137,800円 (1-8月累計: 512,530円)
合計: 752,921 円 (1-8月累計: 2,450,751円)

2022年目標額: 350万円 (現地支援を含む)

(*現地支援: 主に日本語教師の謝儀、外部説教奉仕謝礼など)
*皆さまの尊いご献金をありがとうございます。
それぞれのご家庭、教会の祝福を心からお祈り申し上げます。

*オンライン宣教報告 (説教、宣教の証し等)

礼拝や祈禱会でのご奉仕を随時承っておりますので、お気軽にお問い合わせくださり、お招きください。

kenyokomario@yahoo.co.jp